

第 14 章

衛 生

目 次

- 1 医療施設状況
- 2 病院・一般診療所・歯科診療所の従業者数
- 3 死因別死亡者数の推移
- 4 年齢(10歳階級)別・男女別死亡者数
- 5 死因別順位及び死亡率
- 6 各種検診状況
- 7 予防接種の実施状況
- 8 狂犬病予防等事業
- 9 公害苦情発生状況
- 10 自動車交通騒音
- 11 地盤沈下
- 12 大気汚染
- 13 水質汚濁
- 14 ごみ処理状況
- 15 ごみ収集形態別収集量
- 16 し尿処理人口の推移
- 17 し尿処理状況

1. 医療施設状況

(単位 箇所、床)

年次	医療施設					病床数
	総数	病院	診療所	歯科	薬局	
平成16年	90	1	33	26	30	348
17	93	1	36	26	30	367
18	92	1	36	26	29	357
19	91	1	35	26	29	338
20	90	1	35	27	27	338
21	94	1	36	27	30	346
22	95	1	37	27	30	338
23	92	1	36	27	28	338
24	96	1	38	27	30	220
25	95	1	38	26	30	214
26	101	1	38	27	35	214

注 1) (一般)病院は、精神病院や伝染病病院等を除く一般病床、あるいは2種以上の病床をもつ病院で、患者20人以上の収容施設をもつもの

2) (一般)診療所とは、医師が管理し、主として医療をなす場所で、患者の収容施設をもたないか、または19人以下の収容施設をもつもの

資料 保健福祉部健康課

2. 病院・一般診療所・歯科診療所従事者数

(単位 人)

各年12月31日現在（～17年度まで各年10月1日現在）

年次	医師	歯科医師	薬剤師	看護師	准看護師	保健師	助産師	歯科衛生士
平成5年	28	27	7	35	92	3	3	9
8	41	28	9	58	106	5	2	19
11	46	28	11	81	117	2	3	15
14	57	32	9	97	122	1	1	17
17	55	34	11	138	120	2	14	22
20	61	35	15	144	137	1	20	24
22	63	37	13	(538)	(168)	(23)	(0)	-
24	51	38	10	-	-	-	-	-

注 1) () 内の数字は市内施設従事者数（事業所等を含む）。

2) 看護師、准看護師、保健師、助産師は県に報告がある数。歯科衛生士は平成22年度より調査対象からはずれた。

3) 平成24年度より集計方法の変更のため、看護師、准看護師、保健師、助産師の公表なし。

資料 宮城県保健福祉部医療整備課「衛生統計年報（医師・歯科医師・薬剤師調査）」（平成20年度より2年ごと）

3. 死因別死亡者数の推移

(単位 人)

年次	総数	脳血管疾患	悪性新生物	心疾患	不慮の事故	肺炎	その他
平成15年度	300	44	109	41	13	20	73
16	333	49	114	41	19	25	85
17	374	46	132	43	16	26	111
18	364	54	122	52	14	26	96
19	389	57	136	47	16	23	110
20	412	54	136	66	13	33	110
21	427	55	143	70	17	36	106
22	448	70	135	67	14	37	125
23	604	52	174	79	133	31	135
24	431	54	135	63	13	29	137
25	391	44	157	73	16	31	70

注 1) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳梗塞等

2) 悪性新生物とは、いわゆるガン

3) 心疾患とは、高血圧症を除く心筋梗塞、心不全等

4) 不慮の事故とは、交通事故、転倒、溺死等

資料 宮城県保健福祉部保健福祉総務課「衛生統計年報」

4. 年齢(10歳階級)別・男女別死亡者数

(単位 人)

年次	総数			0～9歳		10～19		20～29		30～39		40～49		50～59		60～69		70～79		80歳以上	
	総数	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成15年	300	180	120	1	2	2	-	2	1	5	3	7	2	22	8	36	16	55	29	50	59
16	333	198	135	1	1	1	-	5	3	4	-	9	2	26	7	40	13	56	31	56	78
17	374	202	171	2	1	-	1	1	1	8	1	11	3	29	11	33	14	58	33	60	106
18	364	215	149	1	1	1	1	3	-	2	3	4	4	22	14	42	15	68	35	82	76
19	389	224	165	-	1	2	-	4	2	1	-	8	4	22	11	44	11	60	29	83	107
20	412	224	188	4	-	-	-	2	3	3	1	5	10	24	17	38	20	62	33	86	107
21	427	242	185	3	-	1	-	3	-	2	1	11	3	25	4	32	21	82	47	83	109
22	448	261	187	-	-	-	-	2	-	3	-	13	1	12	3	49	21	72	35	110	127
23	604	331	273	4	4	2	-	6	5	7	4	11	17	28	18	64	26	94	56	115	143
24	431	237	194	1	-	-	-	1	-	4	5	7	4	11	6	63	19	58	37	92	123
25	391	214	177	0	2	3	1	0	2	0	1	8	5	8	5	44	17	62	31	89	113

資料 宮城県保健福祉部保健福祉総務課「衛生統計年報」

5. 死因別順位及び死亡率

(単位 人、%)

平成25年

死亡 順位	死 因	死 亡 者 数			死因別 死亡率	(参考) 死因別死亡率	
		総 数	男	女		宮城県	全 国
	総 数	391	214	177	628.9	958.7	1,009.1
1	悪 性 新 生 物	157	99	58	252.5	280.4	290.3
2	不 慮 の 事 故	16	12	4	25.7	19.0	31.5
3	心 疾 患	73	32	41	117.4	143.7	156.5
4	脳 血 管 疾 患	44	25	19	70.7	106.3	94.1
5	肺 炎	31	18	13	49.8	76.7	97.8

注 1) 死亡率=死亡者数/人口(10月1日現在)×100,000

2) 脳血管疾患とは、くも膜下出血、脳梗塞等

3) 悪性新生物とは、いわゆるガン

4) 心疾患とは、高血圧症を除く心筋梗塞、心不全等

5) 不慮の事故とは、交通事故、転倒、溺死等

資料 宮城県保健福祉部保健福祉総務課「衛生統計年報」

6. 各種検診状況

(単位 人、件、%)

年次	3ヶ月児健康診査			1歳6ヶ月児健康診査			3歳児健康診査			2歳6か月児歯科健康診査		
	該当者	受診者	受診率	該当者	受診者	受診率	該当者	受診者	受診率	該当者	受診者	受診率
平成16年度	694	661	95.2	700	656	93.7	699	625	89.4	737	527	72
17	657	632	96.2	697	643	92.3	718	649	90.4	670	508	75.8
18	699	685	98.0	666	620	93.1	649	574	88.4	704	540	76.7
19	707	702	99.3	708	650	91.8	677	605	89.4	653	500	76.6
20	692	684	98.8	717	681	95.0	658	590	89.7	698	546	76.7
21	648	645	99.5	695	645	92.8	676	615	91.0	698	560	80.2
22	656	606	92.4	664	597	89.9	651	584	89.7	614	537	87.5
23	621	596	96.0	630	605	96.0	644	549	85.2	589	490	83.2
24	584	581	99.5	597	566	94.8	570	530	93.0	623	536	86.0
25	604	598	99.0	626	606	96.8	581	529	91.0	597	520	87.1
26	588	581	98.8	592	583	98.5	584	533	91.3	609	524	86.0

年次	特定健康診査					健康診査					結核健康診断				
	対象者	受診者	受診率	要指導	要医療	申込者	受診者	受診率	要指導	要医療	申込者	受診者	受診率	要精検	結核
平成16年度	-	-	-	-	-	8,762	6,505	74.2	2,293	1,478	11,676	7,956	68.1	151	1
17	-	-	-	-	-	8,910	6,746	75.5	2,655	3,514	3,876	3,295	85.0	93	-
18	-	-	-	-	-	8,482	6,305	74.3	3,057	2,550	3,932	3,260	82.9	69	-
19	9,273	3,229	35	1,604	1,320	-	3,185	-	1,568	1,224	4,133	3,421	82.8	67	-
20	9,743	3,847	39.5	987	2,739	1,603	1,134	71	284	833	4,385	3,573	81.5	85	-
21	10,133	3,870	38.2	1,360	2,326	1,642	1,085	66.1	331	728	4,468	3,668	82.1	68	-
22	10,095	3,809	37.7	1,370	2,333	1,817	1,223	67.3	375	837	4,455	3,727	83.7	95	-
23	10,759	3,759	34.9	1,245	2,297	2,017	1,094	54.2	322	740	4,675	3,370	72.1	77	-
24	10,992	3,994	36.3	1,280	2,506	2,007	1,237	61.6	366	839	5,003	3,801	76.0	101	-
25	10,822	4,138	38.2	1,401	2,359	2,130	1,331	62.5	480	789	5,268	4,076	77.4	74	-
26	10,420	4,707	45.2	1,541	2,749	2,237	1,392	62.2	500	825	5,429	4,152	76.5	87	-

注 平成20年4月から基本健康診査に代わり、特定健康診査及び健康診査を実施

平成18年度までの健康診査の部分は基本健康診査の数値を記載している。

平成19年度の特定健康診査の部分については平成20年度と比較するために平成19年度基本健康診査受診者から40歳から74歳までの国民健康保険加入者を調べ、数値を記載

平成19年度の健康診査の部分については平成19年度基本健康診査受診者で、40歳から74歳までの国民健康保険加入者を除いた数値を記載

平成23年度は東日本大震災に伴う被災者支援として伊豆の国市避難者特定健康診査・健康診査を実施

結核健康診断は、平成17年度から結核予防法の改正により、65歳以上を対象とする。

年次	胃がん検診					子宮がん検診					乳がん検診					大腸がん検診					肺がん検診				
	申込者	受診者	受診率	要精検	胃がん	申込者	受診者	受診率	要精検	子宮がん	申込者	受診者	受診率	要精検	乳がん	申込者	受診者	受診率	要精検	大腸がん	申込者	受診者	受診率	要精検	肺がん
平成16年度	8,456	4,211	49.8	457	1	7,878	4,312	54.7	34	2	7,291	3,235	44.4	437	9	8,012	4,734	59.1	207	8	9,474	7,110	75.0	151	3
17	8,610	4,260	51.6	369	2	7,836	4,319	55.1	29	3	2,913	1,872	64.3	155	5	8,314	5,165	62.1	172	7	9,455	7,259	76.8	159	3
18	8,369	4,239	53.2	319	-	7,626	4,513	59.2	35	-	2,994	2,030	67.8	220	4	8,330	5,204	62.5	188	6	9,047	6,803	75.2	111	-
19	8,311	4,349	52.3	348	6	7,621	4,686	61.5	37	1	2,967	2,141	72.2	128	4	8,531	5,421	63.5	216	4	9,088	6,859	75.5	102	4
20	8,699	4,295	49.4	396	7	7,807	4,672	59.8	28	-	3,243	2,691	83.0	167	12	8,987	5,621	62.5	198	15	9,331	6,479	69.4	121	1
21	8,875	4,475	50.4	358	13	8,012	5,355	66.8	49	4	3,201	2,925	91.4	192	10	9,276	5,979	64.5	222	24	9,313	6,665	71.6	98	-
22	8,911	4,286	48.1	351	10	9,602	5,095	53.1	47	1	3,862	2,780	72.0	194	9	9,459	5,954	62.9	249	11	9,521	6,708	70.5	127	-
23	8,190	3,265	39.9	258	2	9,027	4,183	46.3	45	2	3,552	2,469	69.5	187	10	12,080	6,161	51.0	208	15	9,282	5,858	63.1	99	-
24	8,541	3,931	46.0	309	1	8,835	4,393	49.7	43	1	3,692	2,651	71.8	185	10	12,580	6,306	50.1	249	24	9,613	6,316	65.7	149	-
25	8,699	4,092	47.0	232	0	7,618	4,323	56.7	35	1	3,746	2,671	71.3	156	10	9,697	6,127	63.2	273	13	9,715	6,577	67.7	104	-
26	8,369	4,020	48.0	269	5	10,455	4,609	44.1	49	1	4,016	2,944	73.3	186	8	12,873	6,543	50.8	332	18	9,550	6,432	67.4	116	-

注 平成21年度から「女性特有のがん検診推進事業」（一定年齢の女性を対象とする子宮がん・乳がん無料検診）を実施

平成23年度から「がん検診推進事業」（一定年齢の住民を対象とする子宮がん・乳がん・大腸がん無料検診）を実施

※赤字は修正したもの

資料 保健福祉部健康課

7. 予防接種の実施状況

(単位 人)

年 度	四種混合	三種混合	二種混合	生ポリオ	不活化ポリオ	日本脳炎	インフルエンザ	風しん	麻しん	麻しん風しん混合	BCG	Hib	小児肺炎球菌	子宮頸がん	水痘
平成16年度	-	2,894	357	1,393	-	2,263	4,277	871	652	-	-	-	-	-	-
17	-	2,686	397	1,284	-	576	4,508	1,034	667	-	-	-	-	-	-
18	-	2,750	338	1,254	-	11	4,795	27	-	1,156	-	-	-	-	-
19	-	2,610	387	1,400	-	65	5,241	4	-	1,307	700	-	-	-	-
20	-	2,753	485	1,300	-	110	5,445	4	-	2,248	702	-	-	-	-
21	-	2,647	501	1,205	-	451	5,375	3	1	2,295	639	-	-	-	-
22	-	2,570	519	1,297	-	1,735	5,943	2	-	2,112	592	-	-	-	-
23	-	2,455	557	961	-	2,813	5,897	1	-	2,350	633	-	-	-	-
24	375	2,067	540	849	1,660	2,457	6,200	-	1	2,377	568	-	-	-	-
25	1,885	636	433	-	630	2,241	6,573	0	0	1,101	486	2,632	2,506	119	-
26	2,284	147	452	-	273	2,771	4,947	0	0	1,170	580	2,441	2,442	7	1247

注 予防接種法の改正により、下記のとおり変更があった。

- 1) MMRは平成6年度に廃止
- 2) 日本脳炎は平成17年5月30日から接種の積極的勧奨を差し控えることとしていたが、平成22年4月1日より積極的勧奨を行うこととなった。
平成23年5月から差し控えられていた対象者（H7. 6. 1～H19. 4. 1）は特例対象者とし、4歳以上20歳未満まで接種拡大された。
- 3) 麻しんまたは風しんに罹患した者は混合ワクチンの接種ではなく、平成18年6月2日より罹患していない方の麻しんまたは風しんの単独接種として1期、2期が接種できるようになった。
- 4) 麻しん風しん混合ワクチンは平成20年度から24年度末までの経過措置として、3期（中学校1年生）、4期（高校3年生）が追加となった。
- 5) BCGは平成19年4月1日から結核予防法が廃止され、予防接種法に織り込まれた。
- 6) ポリオワクチンは、生ポリオから平成24年9月から不活化ポリオへ、同年11月から三種混合に不活化ポリオが追加され四種混合となった。
- 7) 平成25年4月1日からHibワクチン、小児肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンが追加され、同年6月子宮頸がんワクチンが積極的勧奨の差し控えとなった。
- 8) 平成26年10月1日より水痘ワクチンが定期接種になり、平成27年3月まで3歳以上5歳未満まで経過措置が実施された。

資料 保健福祉部健康課

8. 狂犬病予防等事業

(単位 頭)

年 度	登録頭数	注射頭数	集 合		集 合 以 外		不要犬引取頭数	不要ねこ引取頭数
			登録頭数	注射頭数	登録頭数	注射頭数		
平成16年度	2,478	2,456	86	1,708	146	750	4	109
17	2,514	2,427	57	1,585	176	842	4	116
18	2,525	2,459	69	1,580	167	879	9	80
19	2,597	2,494	59	1,548	190	946	4	79
20	2,678	2,437	71	1,523	71	157	-	-
21	2,754	2,480	62	1,505	198	975	2	-
22	2,824	2,502	42	1,478	199	1,024	1	-
23	2,826	2,060	27	849	193	1,211	2	-
24	2,884	2,370	48	1,260	216	1,110	5	-
25	2,690	2,395	43	1,334	153	1,061	4	-
26	2,697	2,418	26	1,318	198	1,100	1	-

資料 市民經濟部生活環境課

9. 公害苦情発生状況

(単位 件)

年 度	総 数	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	悪 臭	騒 音	振 動	地 盤 沈 下	土 壌 汚 染	そ の 他
平成16年度	121	1	5	45	15	1	-	-	54
17	91	4	3	21	17	-	-	1	45
18	89	1	12	15	16	-	-	-	45
19	108	-	10	17	17	-	-	-	64
20	92	3	2	18	18	-	-	-	51
21	116	8	1	12	12	1	1	-	81
22	101	2	3	7	13	1	-	-	75
23	105	6	6	7	5	-	1	-	80
24	216	1	3	14	24	1	-	-	173
25	156	0	2	6	12	1	1	-	134
26	151	5	0	6	11	-	-	-	129

資料 市民経済部生活環境課

10. 自動車交通騒音

(単位 デシベル(A))

路線名	測定地点	用途地域	類型	測定期間	測定結果					
					昼(6:00~22:00)			夜(22:00~6:00)		
					基準値	測定値	超過値	基準値	測定値	超過値
主要県道仙台・塩釜線	笠神五丁目14-18	準住居地域	B	平 22. 12. 14 ~ 12. 17	70	68	-	65	63	-
				平 23. 12. 19 ~ 12. 22	70	70	-	65	63	-
				平 24. 11. 12 ~ 11. 15	70	71	1	65	66	1
				平 25. 12. 9 ~ 12. 12	70	66	-	65	60	-
				平 26. 12. 8 ~ 12. 11	70	67	-	65	62	-
市道留ヶ谷線	留ヶ谷三丁目4-6	第二種中高層住居専用地域	A	平 22. 11. 30 ~ 12. 3	60	60	-	55	54	-
				平 23. 12. 19 ~ 12. 22	60	65	5	55	58	3
				平 24. 11. 12 ~ 11. 15	60	67	7	55	60	5
				平 25. 12. 2 ~ 12. 5	60	66	6	55	60	5
				平 26. 12. 2 ~ 12. 5	60	67	7	55	60	5
市道新田高橋二号线	高橋一丁目6-20	第一種中高層住居専用地域	A	平 22. 12. 7 ~ 12. 10	55	52	-	45	43	-
				平 23. 12. 13 ~ 12. 16	60	61	1	55	52	-
				平 24. 11. 6 ~ 11. 9	60	62	2	55	54	-
				平 25. 12. 2 ~ 12. 5	60	61	1	55	52	-
				平 26. 12. 2 ~ 12. 5	60	63	3	55	53	-
市道志引団地七号線	東田中二丁目39-4	第二種低層住居専用地域	A	平 22. 11. 30 ~ 12. 3	60	59	-	55	50	-
				平 23. 12. 13 ~ 12. 16	60	66	6	55	57	2
				平 24. 11. 6 ~ 11. 9	60	67	7	55	58	3
				平 25. 12. 2 ~ 12. 5	60	65	5	55	58	3
				平 26. 12. 2 ~ 12. 5	60	67	7	55	59	4
主要県道塩釜・七ヶ浜・多賀城線	桜木一丁目2-15	第一種住居地域	B	平 22. 12. 14 ~ 12. 17	70	62	-	65	57	-
				平 23. 12. 19 ~ 12. 22	70	67	-	65	60	-
				平 24. 11. 12 ~ 11. 15	70	68	-	65	62	-
				平 25. 12. 9 ~ 12. 12	70	65	-	65	59	-
				平 26. 12. 8 ~ 12. 11	70	64	-	65	57	-
主要県道仙台・塩釜線	桜木三丁目4-1	工業地域	C	平 22. 12. 14 ~ 12. 17	70	67	-	65	63	-
				平 23. 12. 19 ~ 12. 22	70	67	-	65	62	-
				平 24. 11. 12 ~ 11. 15	70	66	-	65	61	-
				平 25. 12. 9 ~ 12. 12	70	63	-	65	58	-
				平 26. 12. 8 ~ 12. 11	70	65	-	65	59	-

注 1) 平成14年度より、Leq測定となる。(昼間の時間帯をAM6:00~PM10:00へ変更)

2) 騒音に係る環境基準値とは、人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで、維持するのが望ましい目標値のこと。その数値は、地域の用途と時間により設定される。

50デシベルは静かな事務所やクーラーが作動している状態の音、60デシベルは静かな乗用車や普通の会話をしている状態の音である。

3) 国道45号における騒音調査は平成19年で終了

資料 市民経済部生活環境課「自動車交通騒音測定結果」

11. 地盤沈下

(単位 mm、m)

水準点番号	所在地	平成17年		平成18年		平成20年		平成22年		平成24年	
		変動量	標高	変動量	標高	変動量	標高	変動量	標高	変動量	標高
045-012	八幡一丁目3-44	△7/△116	2.7685	△2/△118	2.7666	△9/△127	2.7576	△0/△127	2.7574	△257/△384	2.5002
045-013	八幡二丁目26-19	△8/△166	2.0566	△3/△169	2.0539	△8/△176	2.0463	1/△175	2.0470	△256/△431	1.7901
045-014	伝上山一丁目16-8	△10/△183	2.1566	△4/△187	2.1526	△10/△197	2.1427	△3/△200	2.1394	△291/△491	1.8480
21	大代一丁目1-27	△7/△52	1.4555	△4/△56	1.4514	△7/△64	1.4443	1/△62	1.4454	△268/△330	1.1765
48	桜木三丁目6-1	△8/△68	1.2325	△4/△72	1.2286	△7/△79	1.2217	2/△80	1.2225	△272/△352	0.9498
49	中央二丁目1-1	△9/△49	10.4298	△2/△51	10.4278	△6/△57	10.4221	△2/△59	10.4200	△245/△304	10.1744
50	高橋字発向	△7/△62	3.3827	△2/△63	3.3810	△9/△72	3.3724	△1/△72	3.3714	△254/△326	3.1174
51	南宮字毛上28	△8/△85	5.1770	△2/△86	5.1753	△7/△93	5.1687	△1/△94	5.1674	△248/△342	4.9192
52	新田字中143	△6/△122	4.5926	0/△122	4.5923	△7/△129	4.5854	△1/△131	4.5841	△248/△379	4.3360
53	高橋一丁目12-20	△7/△124	4.8152	△2/△125	4.8137	△7/△132	4.8068	△1/△133	4.8060	△256/△389	4.5492
T-B-1	栄四丁目	△9/△61	1.9429	△4/△65	1.9391	△8/△72	1.9315	2/△70	1.9334	△296/△366	1.6371
港湾(1)	栄二丁目11-2	△7/△49	2.2636	△3/△53	2.2602	△7/△59	2.2533	2/△58	2.2552	△265/△323	1.9896
T-1	南宮字色の地197	△7/△43	4.9978	△1/△44	4.9965	△6/△51	4.9903	△1/△52	4.9890	△234/△286	4.7546
T-2	留ヶ谷三丁目29-10	△8/△88	1.7479	△3/△91	1.7453	△9/△100	1.7366	△3/△101	1.7337	△268/△369	1.4654
T-3	山王字北寿福寺53-23	△7/△36	5.4127	△2/△38	5.4110	△5/△43	5.4059	△2/△45	5.4040	△225/△270	5.1786
T-4	浮島字沢前133	△14/△130	3.2968	△6/△136	3.2908	△29/△136	4.4965	△18/△154	4.4783	△272/△426	4.2058
T-5	八幡字六貫田	△8/△40	2.9856	△1/△41	2.9846	△7/△48	2.9775	0/△48	2.9776	△259/△307	2.7180
T-6	浮島字高原	△11/△114	3.6924	△4/△118	3.6882	△10/△127	3.6786	△5/△132	3.6737	△259/△391	3.4139
T-7	山王字山王四区	△8/△44	4.6119	△2/△46	4.6100	△7/△53	4.6028	△1/△54	4.6018	△254/△308	4.3476
新TS-1	新田字西35-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	新田字西後8-2 *	△8/△21	7.5666	△3/△23	7.5641	△8/△31	7.5564	△2/△33	7.5540	△259/△292	7.2949
TS-3	新田字中46-2	△9/△47	5.6362	0/△47	5.6358	△7/△54	5.6288	△2/△56	5.6271	△253/△309	5.3733
TS-4	新田字新後15-9	△7/△41	6.4318	△2/△42	6.4302	△6/△48	6.4244	△1/△49	6.4235	△238/△287	6.1855
多賀城市水道事業所観測井架台	新田字中46-2	△9/△68	6.6927	0/△68	6.6927	△7/△75	6.6853	△2/△77	6.6833	△255/△332	6.4282
多賀城市水道事業所外管	新田字中46-2	△8/△33	6.8226	0/△34	6.8223	△6/△40	6.8159	△1/△41	6.8151	△224/△265	6.5911
多賀城市水道事業所内管	新田字中46-2	△8/△33	7.2138	0/△34	7.2134	△7/△40	7.2068	△0/△41	7.2065	△223/△264	7.2065
TM-1宮東衛組No.-1	南宮字庚申146-2	△7/△178	4.4945	△2/△180	4.4925	△6/△186	4.4865	△2/△188	4.4843	△254/△442	4.2295
TM-2宮東衛組No.-2	南宮字町70	△7/△43	5.2335	△2/△45	5.2311	△6/△51	5.2253	△1/△53	5.2239	△249/△302	4.9741

注 1) 変動量は左が年間(単年度)変動量/右が累計変動量である。変動量は、小数点第1位を四捨五入した数値である。

なお、平成24年度は、平成23年3月11日の東日本大震災による影響のため、変動量が大きいと推定される。

2) (2)水準点045-013は、平成5年再設(仮点)である。

3) (3)水準点49は、昭和63年移転改埋である。

4) 水準点50は、平成4年3月再設である。

5) 水準点多賀城市水道事業所No.-3は、平成2年3月移転改埋である。

6) 宮東衛組No.-2は、平成8年再設である。

7) *は、平成11年度移転新設である。

8) 平成14年の累積変動量の計算は、移転・改埋の場合は設置からその年までの累積計とし、再設・異常点(標高の関連のないもの)については累積変動量には加算していないが、再設前の変動量を加算した値を累積計としている。

9) 平成18年から隔年実施の調査となったが、平成24年度以降は3年毎の調査となる。

資料 市民経済部生活環境課「仙台平野地盤沈下調査水準測量結果」

12. 大気汚染

(単位 ppm、mg/m³)

測定局 (宮城県 設置)	年 度	二酸化硫黄		一酸化窒素		二酸化窒素		窒素酸化物		浮遊粒子状物質		光化学オゾン 昼間1時間最高値
		年平均値	1時間値 の最高値	年平均値	1時間値 の最高値	年平均値	1時間値 の最高値	年平均値	1時間値 の最高値	年平均値	1時間値 の最高値	
多 賀 城 Ⅱ (山王 地区 公民館)	平成15年度	0.002	0.043	0.008	0.139	0.016	0.064	0.023	0.185	0.027	0.298	0.076
	16	0.001	0.004	0.031	0.137	0.013	0.029	0.020	0.168	0.022	0.055	0.084
	17	0.001	0.003	0.006	0.540	0.014	0.030	0.020	0.204	0.022	0.065	0.095
	18	0.001	0.015	0.007	0.161	0.015	0.066	0.022	0.213	0.021	0.384	0.076
	19	0.001	0.013	0.005	0.120	0.014	0.066	0.019	0.153	0.023	0.102	0.097
	20	0.001	0.010	0.005	0.115	0.012	0.066	0.017	0.143	0.023	0.233	0.097

- 注 1) 二酸化硫黄とは、無色で刺激臭のある気体で、気道を刺激する。燃焼中の硫黄分の燃焼により生成される。
 2) 一酸化窒素とは、無色の気体。二酸化窒素よりは毒性が弱く、酸素に触れると二酸化窒素になる。
 3) 二酸化窒素とは、赤褐色の刺激性の気体。水に溶けにくいため、肺水腫等の原因になる。
 4) 窒素酸化物とは、窒素と酸素化合物の総称であり、発生源は自動車、ボイラー、家庭用暖房、工場等である。
 5) 浮遊粒子状物質とは、大気中を浮遊する物質で、10ミクロン以下のものは、気道や肺胞に沈着し、健康に影響を及ぼす。
 6) 県内の測定局配置見直しのため平成21年3月から測定を休止していたが、平成25年11月22日付けで廃止された。

資料 市民経済部生活環境課

14. ごみ処理状況

(単位 平方km、人、t、日、台)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
計画処理区域面積		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
人 口		62,129	62,613	62,683	62,817	63,129	62,971	62,612	61,451	61,792	62,048	62,480
計画処理区域内人口		62,129	62,613	62,683	62,817	63,129	62,971	62,612	61,451	61,792	62,048	62,480
年間総排出量		25,897	24,343	24,365	23,495	22,076	21,257	20,483	23,590	22,327	21,676	21,814
年間総収集量		17,883	17,249	17,360	16,689	16,001	15,747	15,271	20,798	16,573	15,778	15,770
総 処 理 量	総 数	25,897	24,343	24,365	23,495	22,076	21,257	20,483	23,590	22,327	21,676	21,814
	焼却処理	22,624	21,190	21,388	20,836	19,653	18,783	18,113	20,354	19,414	18,994	19,051
	資源化	3,149	3,057	2,889	2,566	2,327	2,390	2,284	3,155	2,818	2,575	2,666
	埋立処理	124	96	88	93	96	84	86	81	95	107	97
焼却処理稼働日数		332	340	342	333	353	356	356	357	359	358	358
収集作業員数		14	14	14	14	14	14	14	18	18	18	18
収 集 車 輛	総 数	11	11	11	11	12	12	12	15	14	15	13
	特殊運搬車	7	7	7	7	7	7	7	9	8	7	7
	運搬車	4	4	4	4	5	5	5	6	6	8	6

資料 市民経済部生活環境課・宮城東部衛生処理組合

※赤字は修正したもの

15. ごみ収集形態別収集量

(単位 t)

年 度	総 数				生 活 系			事 業 系				(別掲) 災害ごみ	
	総 数	可燃ごみ	不燃ごみ	資源物	委 託			許 可		直接搬入			
					可燃ごみ	不燃ごみ	資源物	可燃ごみ	不燃ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ	可燃ごみ	不燃ごみ
平成16年度	25,897	21,409	1,423	3,065	13,635	1,183	3,065	6,265	194	1,509	46	-	-
17	24,343	20,233	1,215	2,895	13,318	1,036	2,895	5,442	130	1,473	49	-	-
18	24,365	20,409	1,190	2,766	13,566	1,028	2,766	5,164	124	1,679	38	-	-
19	23,495	19,992	1,018	2,485	13,343	861	2,485	5,240	118	1,409	39	-	-
20	22,076	18,830	987	2,259	12,909	833	2,259	4,570	119	1,351	35	-	-
21	21,257	18,132	917	2,208	12,763	776	2,208	3,881	106	1,488	35	-	-
22	20,483	17,424	952	2,107	12,308	856	2,107	3,726	75	1,390	21	717	-
23	23,590	19,216	1,656	2,718	14,136	1,499	2,718	3,661	113	1,418	44	3,114	7
24	22,327	18,551	1,209	2,567	12,915	1,091	2,567	4,158	91	1,478	27	1,170	-
25	21,676	18,239	1,068	2,369	12,483	926	2,369	4,328	91	1,428	51	108	3,756
26	21,814	18,336	1,026	2,452	12,424	894	2,452	4,396	94	1,516	38	-	-

注 1) 生活系ごみには、側溝汚泥を含む。

2) 災害ごみは、宮城東部衛生処理組合の処理量のみ掲載している。

資料 市民経済部生活環境課

16. し尿処理人口の推移

(単位 km、世帯、人)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
計画処理区域面積		20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
計画処理区域内世帯数		23,097	23,550	23,775	24,033	24,330	24,471	24,540	24,193	24,697	25,128	25,757
総 人 口		61,892	62,371	62,428	62,567	62,861	62,658	62,289	61,451	61,792	62,048	62,480
計画処理区域内人口		61,892	62,371	62,428	62,567	62,861	62,658	62,289	61,451	61,792	62,032	62,465
非 水 洗 化 人 口	総 数	3,297	3,033	2,604	2,427	2,460	2,415	1,552	1,602	1,152	1,300	980
	計画収集人口	3,297	3,033	2,604	2,427	2,460	2,415	1,552	1,602	1,152	1,300	980
	自家処理人口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水 洗 化 人 口	総 数	58,595	59,338	59,824	60,390	60,401	60,243	60,737	59,849	60,640	60,748	61,500
	公共下水道人口	57,615	58,392	59,029	59,694	59,868	59,724	60,219	59,497	60,278	60,394	61,145
	し尿浄化槽人口	980	946	795	696	533	519	518	352	362	354	355

注 総人口は、住民基本台帳による。

資料 市民経済部生活環境課、建設部下水道課

17. ㄥ尿処理状況

(単位 ㄥ、台、日)

年 度	年間総処理量	運搬稼働台数	処理施設稼働日数	1日平均処理量	1日平均台数
平成16年度	2,201,210	1,176	365	6,031	3
17	2,061,530	1,108	365	5,648	3
18	1,977,570	1,072	365	5,418	3
19	1,779,190	972	365	4,874	3
20	1,519,180	888	365	4,162	2
21	1,458,370	787	365	3,996	2
22	1,453,290	781	365	3,982	2
23	1,491,470	626	366	4,075	2
24	1,172,610	455	365	3,213	1
25	1,057,970	416	365	2,899	1
26	994,540	362	365	2,725	1

資料 市民経済部生活環境課

13. 水質汚濁

測定値点名	年 度	水素イオン濃度	容存酸素量	生物化学的 酸素要求量	化学的酸素 要求量	浮遊物質
		PH	DO	BOD	COD	SS
多 賀 城 堰	基準値	6.0~8.5	5mg/ℓ以上	5mg/ℓ以下		50mg/ℓ以下
	平成16年度	7.8	9.5	1.9	-	20.0
	17	7.6	10.4	1.8	-	24.2
	18	7.6	10.0	1.5	-	19.7
	19	7.7	9.4	2.1	-	21.0
	20	7.7	9.8	2.0	-	19.5
	21	7.7	9.5	1.6	-	19.0
	22	7.7	9.6	1.6	-	19.0
	23	7.6	9.3	1.9	-	28.0
	24	7.7	8.9	1.7	-	23.0
	25	7.5	9.4	2.6	-	23.9
	26	7.6	9.7	1.6	-	18.3
念 仏 橋	基準値	6.0~8.5	5mg/ℓ以上	5mg/ℓ以下		50mg/ℓ以下
	平成16年度	7.0	7.4	2.6	6.1	-
	17	7.6	7.4	1.6	5.9	-
	18	7.6	7.8	1.1	5.7	17.1
	19	7.6	7.5	1.2	5.9	9.0
	20	7.6	8.3	0.9	6.1	13.5
	21	7.7	8.2	0.9	-	12.0
	22	7.8	7.5	1.1	5.0	12.0
	23	7.6	7.0	2.4	5.3	8.0
	24	7.8	7.4	1.7	-	11.0
	25	7.7	7.9	1.7	-	8.7
	26	7.7	9.4	1.0	-	7.8
貞 山 橋	基準値	6.0~8.5	5mg/ℓ以上	5mg/ℓ以下		50mg/ℓ以下
	平成16年度	7.9	7.3	1.1	4.5	-
	17	7.7	7.3	0.9	4.2	-
	18	7.6	6.8	1.0	4.9	12.5
	19	7.7	7.3	1.1	5.3	7.0
	20	7.7	7.4	1.3	5.1	8.5
	21	7.7	7.6	1.1	-	8.0
	22	7.7	7.1	1.1	4.2	11.0
	23	7.5	4.7	37.0	13.3	11.0
	24	7.6	5.1	7.4	-	8.0
	25	7.8	7.9	1.9	-	7.0
	26	7.7	7.7	1.2	-	5.7

- 注 1) BOD及びCODの値は、平成7年度より75%値である。
 2) 水素イオン濃度とは、PH7で中性。7より小さいと酸性、大きいとアルカリ性になる。
 3) 溶存酸素量とは、水に溶けている酸素量のこと。この溶存酸素量が多いほど、水がきれいであるといえる。
 4) 生物、化学的酸素要求量とは、いずれも水の汚染度を示す重要な指標。数値が高いほど、汚染が進んでいることを示す。

※赤字は修正したもの

資料 宮城県環境生活部環境対策課「公共用水域水質測定調査結果」